
景 気 動 向 調 査 結 果

— 平成30年第Ⅱ四半期（4月～6月期）分 —

平成30年9月

高山市商工観光部商工課

調査の概要

- 1 調査方法 調査対象を事業所統計調査のデータより無作為抽出（層化抽出）し、郵送の方法によるアンケート調査
- 2 調査対象 市内の企業 500社
- 3 調査時期 平成30年 7月上旬
- 4 回収状況 配布数 500社
有効回収数 163社 (有効回収率 32.6%)

※ 業種別回収状況

建設・土木業	26社	(31.0%)
製造業	39社	(41.9%)
卸売・小売業	32社	(31.4%)
飲食業	17社	(21.5%)
旅館業	26社	(32.9%)
その他	23社	(36.5%)

計 163社 (32.6%)

※・農林水産業は、調査していない。

・その他の業種は、「サービス（旅館業除く）・運輸通信・金融保険・不動産業」をいう。

【参 考】

D I (Diffusion Index) 値

D Iとは、デフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各項目ごとの「増加（上昇・好転・長期化）企業割合」と「減少（低下化・短期化）企業割合」の差を示すものです。「上昇（増加など）の割合 - 下降（減少など）の割合」

・はじめに

平成30年7月に実施しました、景気動向調査(平成30年4月～6月期)の結果について、とりまとめましたのでご報告いたします。

・概況

・販売(売上)の動向

前年同期比の産業全体の販売高DI値は▲25.3となり、前回(▲1.2)より24.1ポイント減少した。

前期比のDI値は▲10.4で、前回(▲17.1)より6.7ポイント増加した。

・景気の動向

今期の景気動向について、前期比のDI値は▲10.5となり、前回(▲14.7)より4.2ポイント増加した。

また、来期見込のDI値については、今期より11.1ポイント減少し、▲21.6となっている。

・雇用の状況

今期の雇用している人員が「過剰」と回答した事業所の割合は9.4%で、前回(8.8%)より0.6ポイント増加し、「不足」と回答した事業所の割合は34.4%で、前回(35.1%)より0.7ポイント減少した。

来期について「過剰」と回答した事業所の割合は8.1%で、今期の雇用状況と比較すると1.3ポイント減少している。「不足」と回答した事業所の割合は35.7%で、今期の雇用状況と比較して1.3ポイント増加している。

有効求人倍率については、7月期で1.67となっており、前回調査4月期(1.41)と比較すると0.26ポイント増加している。

・設備投資

今期「設備投資をした」と回答した事業所の割合は31.8%で、前回(24.9%)と比較して6.9ポイント増加した。また、向こう1年間の計画については、「設備投資を計画している」と回答した事業所の割合が33.3%で、今期の設備投資実績より増加傾向にあり、前回調査(36.6%)からは3.3ポイント減少している。

1. 販売（売上）の状況

前年同期比の販売高は下降、前期比の販売高D I 値は上昇傾向

1-1 前年同期比

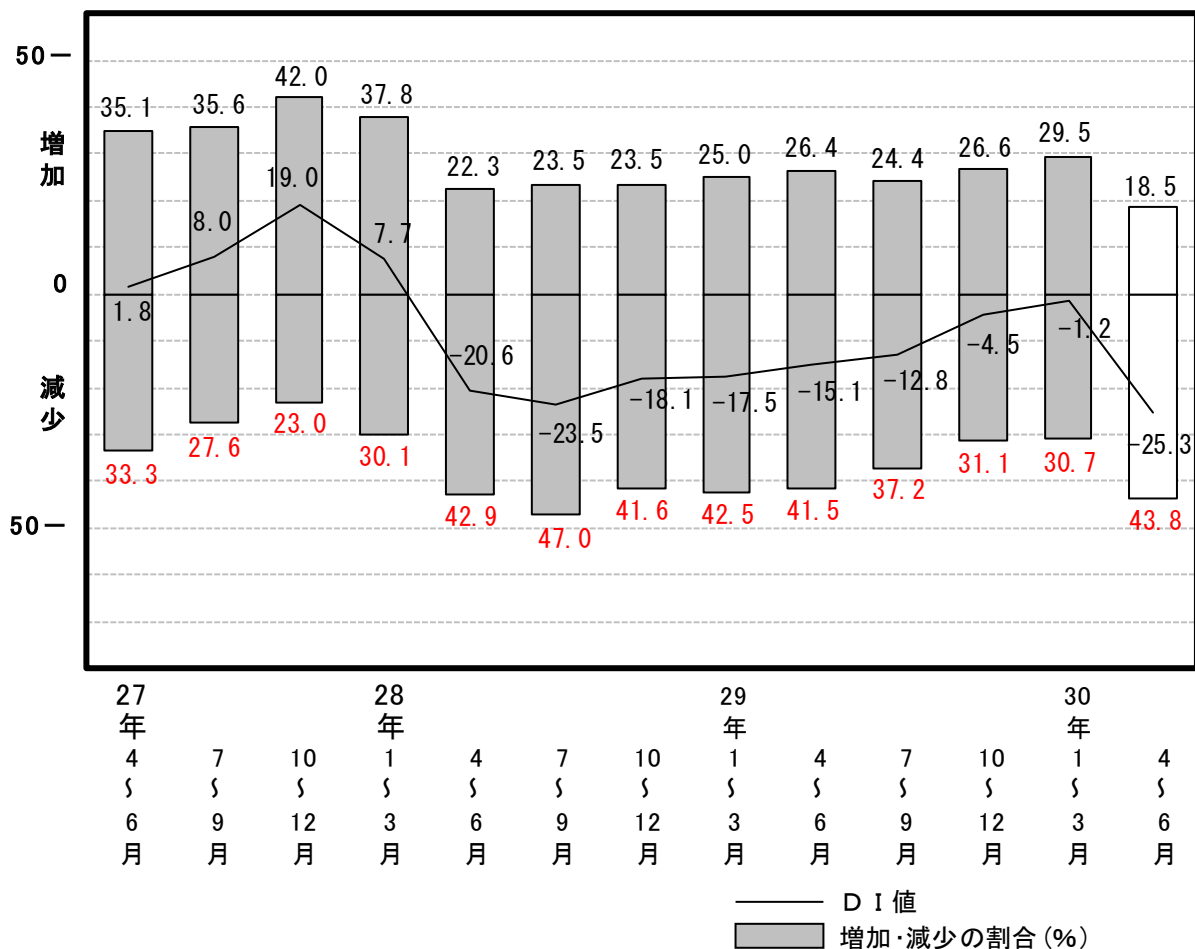
販売高が前年同期と比較して、「増加した」と回答した事業所の割合は18.5%で前回(29.5%)より11.0ポイント減少し、「減少した」と回答した事業所の割合は43.8%で前回(30.7%)より13.1ポイント増加した。その結果、今期の販売高D I 値は▲25.3となり、前回(▲1.2)より24.1ポイント減少した。

(第1図 参照)

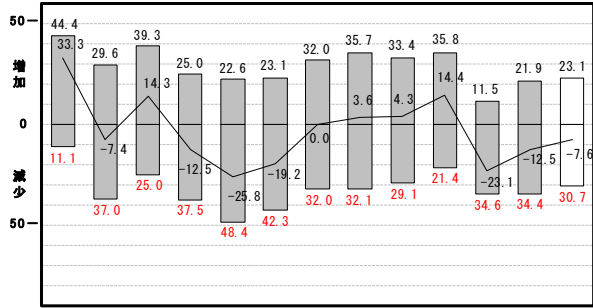
業種別のD I 値を分析すると、「建設・土木業」を除く全ての業種において、前回調査よりも減少している。

(参考図 販売高D I 値の推移(各業種 前年同期比) 参照)

第1図 販売高D I 値の推移(前年同期比)



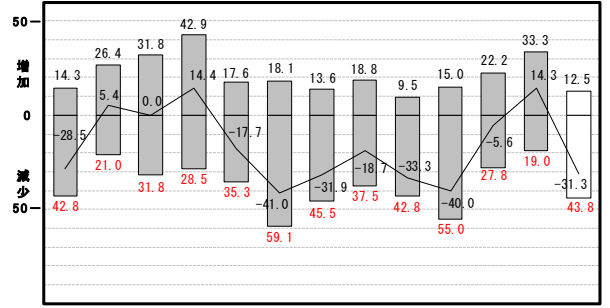
参考図 販売高D I 値の推移（建設・土木業 前年同期比）



年	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4
27年	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4
28年	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
29年	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6
30年	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5

D I 値
増加・減少の割合 (%)

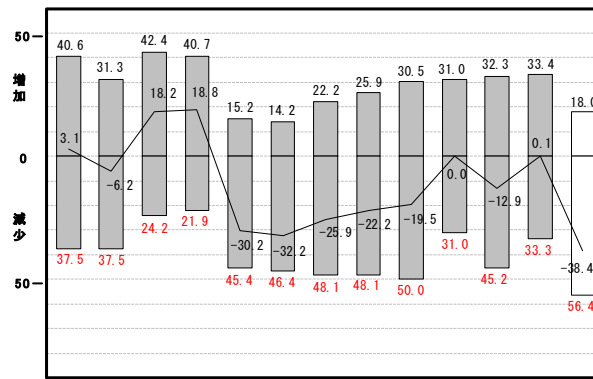
参考図 販売高D I 値の推移（飲食業 前年同期比）



年	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4
27年	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4
28年	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
29年	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6
30年	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5

D I 値
増加・減少の割合 (%)

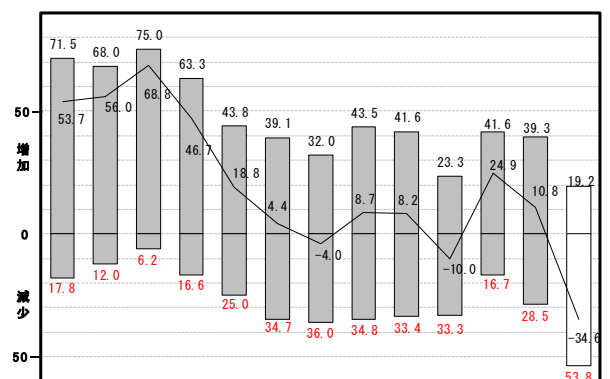
参考図 販売高D I 値の推移（製造業 前年同期比）



年	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4
27年	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4
28年	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
29年	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6
30年	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5

D I 値
増加・減少の割合 (%)

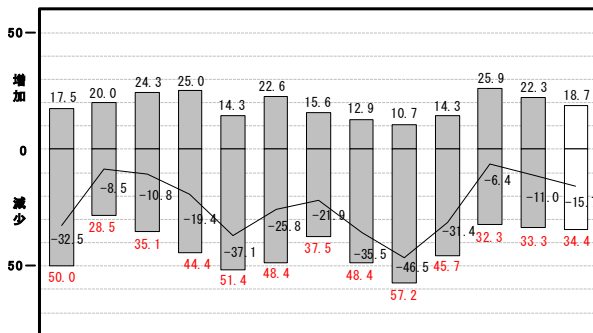
参考図 販売高D I 値の推移（旅館業 前年同期比）



年	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4
27年	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4
28年	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
29年	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6
30年	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5

D I 値
増加・減少の割合 (%)

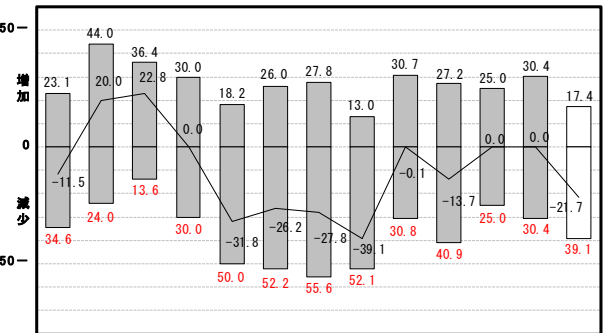
参考図 販売高D I 値の推移（卸売・小売業 前年同期比）



年	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4
27年	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4
28年	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
29年	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6
30年	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5

D I 値
増加・減少の割合 (%)

参考図 販売高D I 値の推移（その他 前年同期比）



年	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4
27年	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4
28年	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
29年	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6
30年	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5

D I 値
増加・減少の割合 (%)

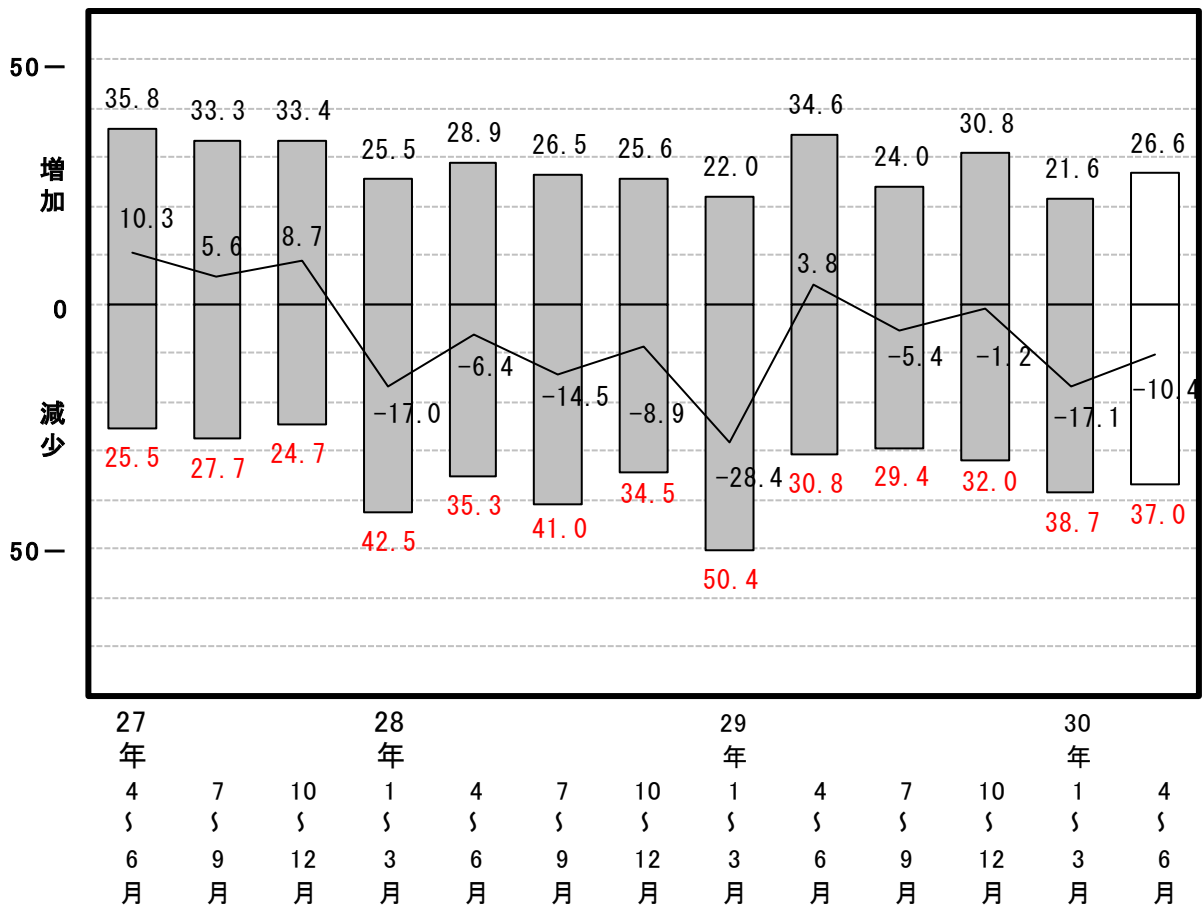
1-2 前期比

販売高が前期と比較して、「増加した」と回答した事業所の割合は26.6%で前回(21.6%)より5.0ポイント増加し、「減少した」と回答した事業所の割合は37.0%で前回(38.7%)より1.7ポイント減少した。その結果、今期のD I値は▲10.4となり、前回(▲17.1)より6.7ポイント増加した。(第2図 参照)

業種別のD I値を分析すると、「卸売・小売業」「飲食業」「旅館業」において前回調査より増加しており、「旅館業」においてはD I値がプラスに転じている。4～6月期の前期比のD I値の増加傾向は、季節的な変動要素が強いと思われ、概ね例年通りの傾向となっている。

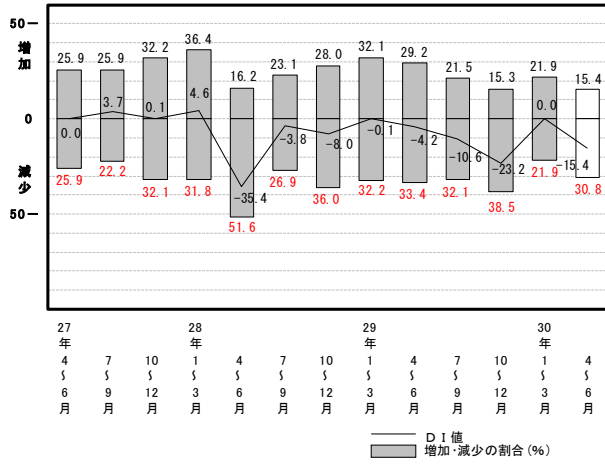
(参考図 販売高D I値の推移(各業種 前期比) 参照)

第2図 販売高D I値の推移(前期比)

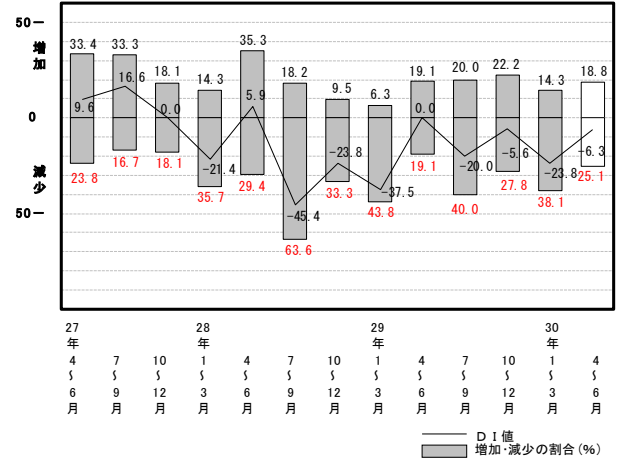


— D I 値
 ■ 増加・減少の割合(%)

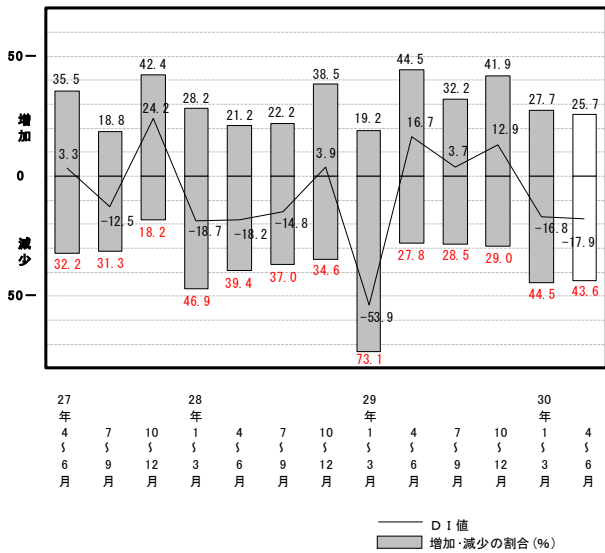
参考図 販売高D I 値の推移（建設・土木業 前期比）



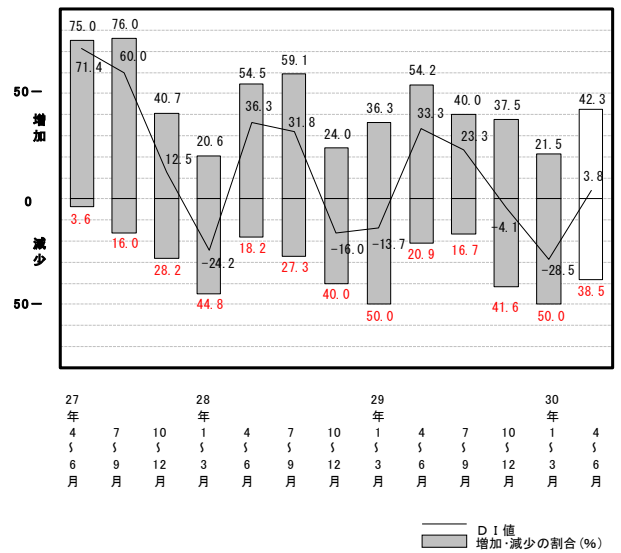
参考図 販売高D I 値の推移（飲食業 前期比）



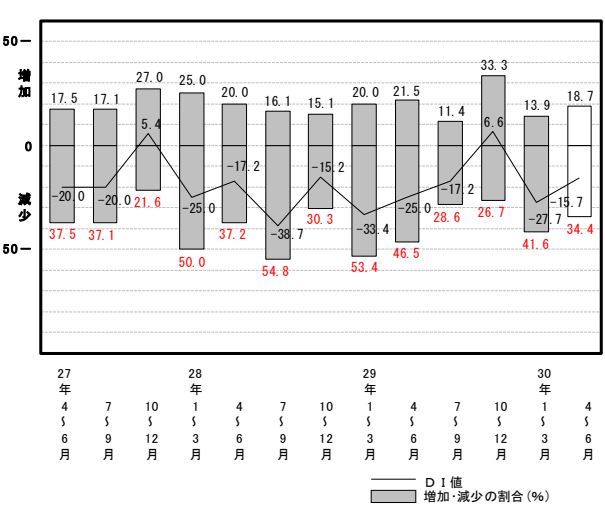
参考図 販売高D I 値の推移（製造業 前期比）



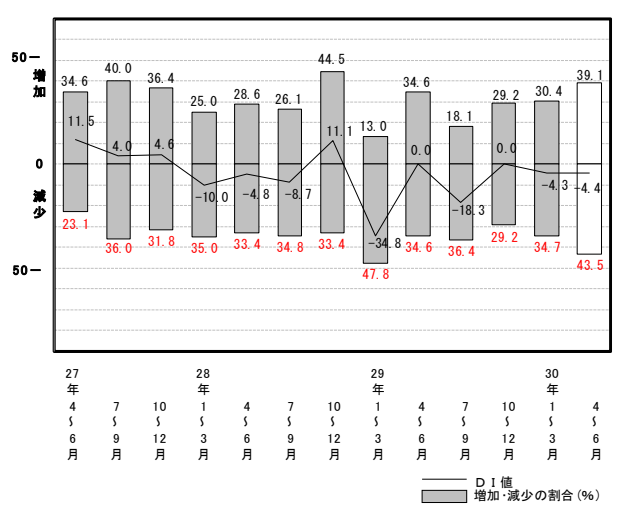
参考図 販売高D I 値の推移（旅館業 前期比）



参考図 販売高D I 値の推移（卸売・小売業 前期比）



参考図 販売高D I 値の推移（その他 前期比）



2. 景気の動向（自社の景気）

景気動向のD I 値は上昇、来期見込のD I 値は下降傾向

自社の景気動向について今期のD I 値をみると、産業全体としては▲10.5となり前回(▲14.7)より4.2ポイント増加した。(第3図 参照)

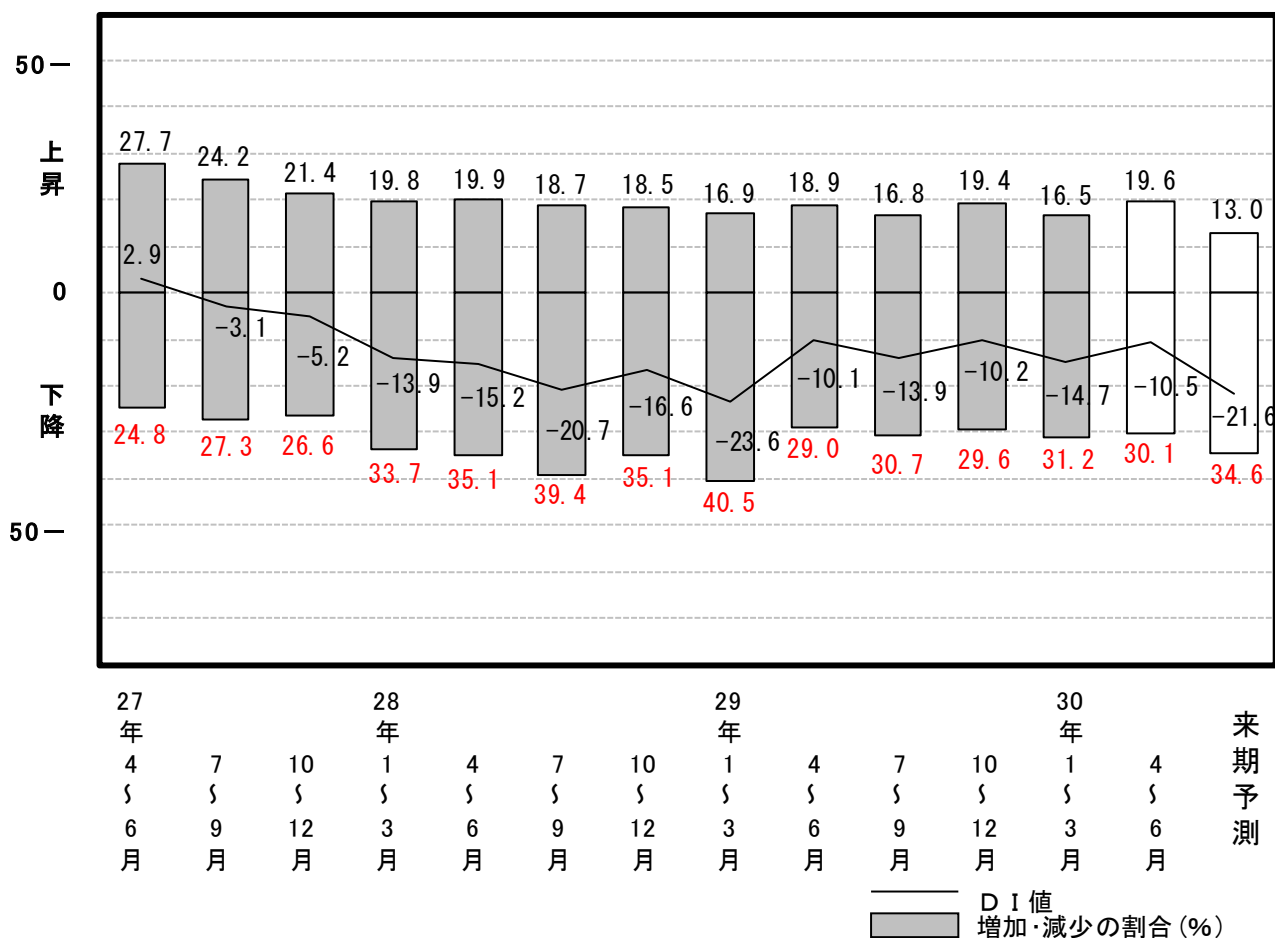
前回調査時における来期見込のD I 値は▲9.1(5.6ポイント増加見込)であったことを踏まえると、今期は前回調査時に予測していたよりも、厳しい景気状況にあったと考えられる。

また、来期見込(今期比)のD I 値は▲21.6で今期値より11.1ポイント減少しており、今期よりも厳しい状況になると考えている事業所の割合が多い。

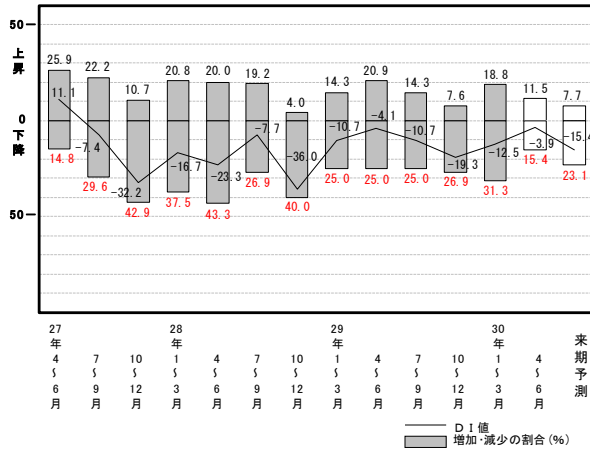
業種別のD I 値を分析すると、今期は「飲食業」「旅館業」において減少している。

また、来期予測に関しては、「製造業」「飲食業」以外の業種において下降すると予測している事業所の割合が多い。(参考図 景気D I 値の推移(各業種) 参照)

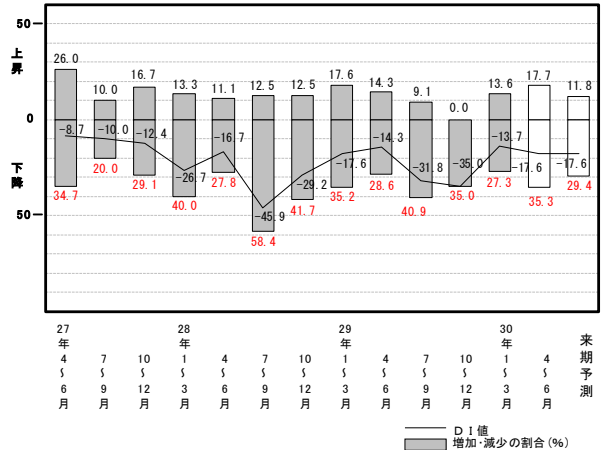
第3図 景気D I 値の推移(全体)



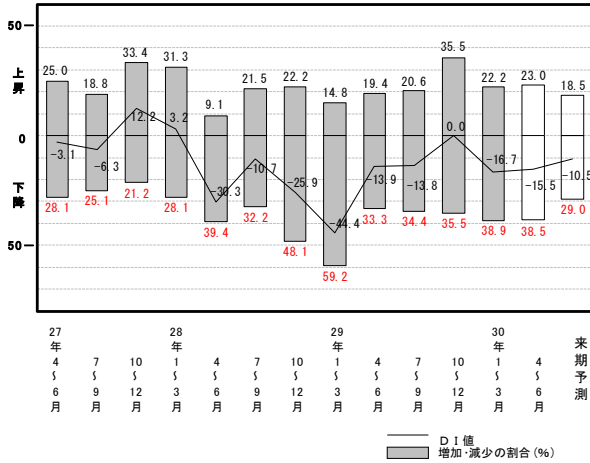
参考図 景気DI値の推移（建設・土木業）



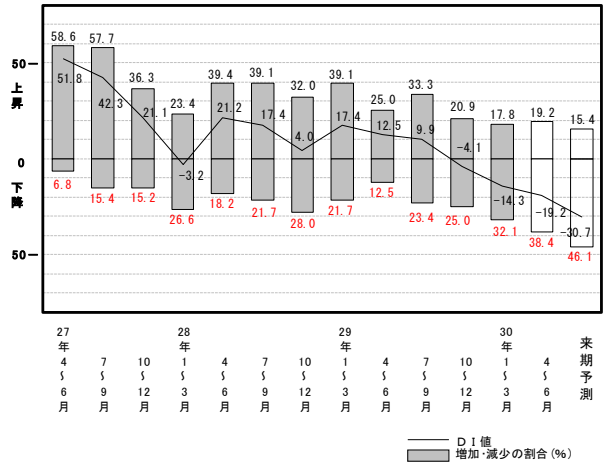
参考図 景気DI値の推移（飲食業）



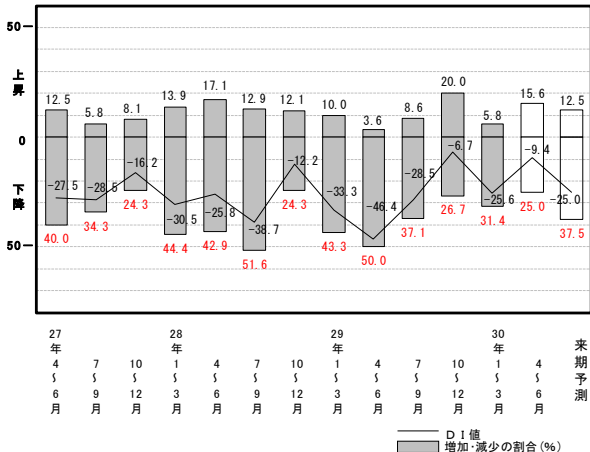
参考図 景気DI値の推移（製造業）



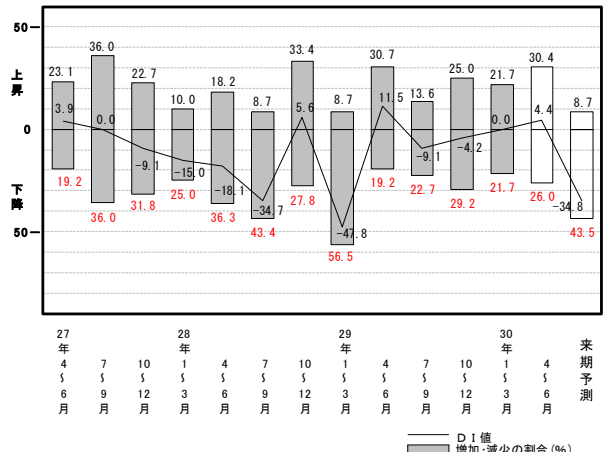
参考図 景気DI値の推移（旅館業）



参考図 景気DI値の推移（卸売・小売業）



参考図 景気DI値の推移（その他）



3. 雇用の状況

雇用状況の「過剰感」は増加、「不足感」は減少

今期において、雇用している人員が「過剰である」「やや過剰である」と回答した事業所の割合は9.4%で、前回(8.8%)より0.6ポイント増加した。

また、「不足している」「やや不足している」と回答した事業所の割合は34.4%で前回(35.1%)より0.7ポイント減少した。

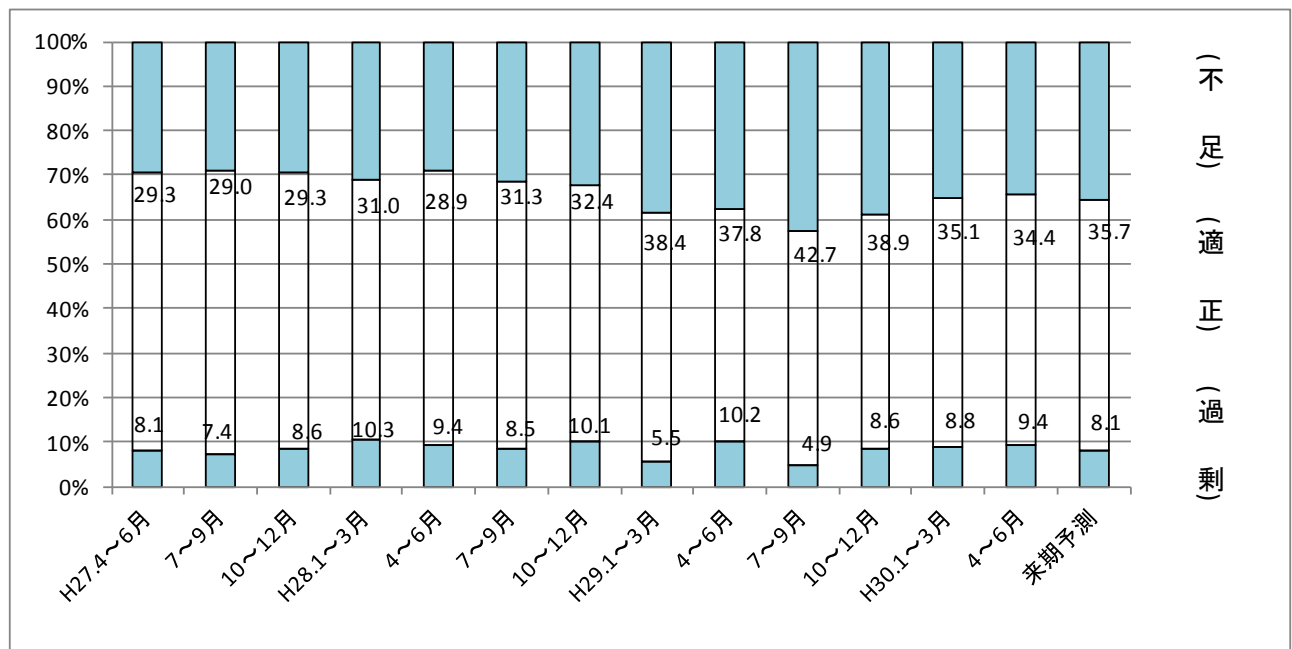
来期予測に関しては、「過剰」が8.1%で今期より1.3ポイント減少、「不足」が35.7%で今期より1.3ポイント増加している。(第4図 参照)

業種別の数値を分析すると、今期は「建設・土木業」「卸売・小売業」以外の業種において「過剰」と回答している事業所の割合が増加し、「建設・土木業」「飲食業」「旅館業」以外の業種においては「不足」と回答している事業所の割合が増加している。

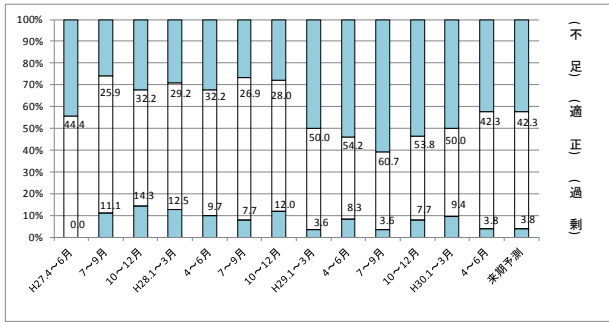
来期予測に関しては、「製造業」「旅館業」において「過剰」と予測する事業所の割合が減少し、「卸売・小売業」「その他」においては、「不足」と予測する事業所の割合が減少している。

(参考図 雇用の状況の推移(各業種) 参照)

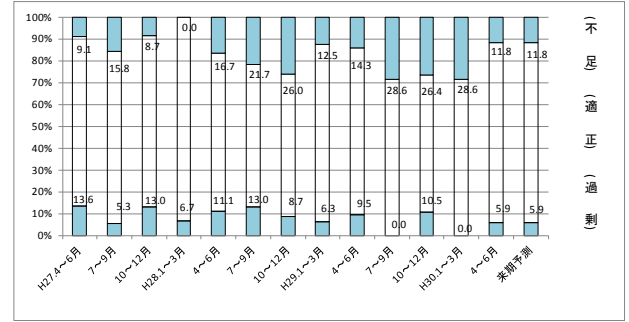
第4図 雇用の状況の推移(全体)



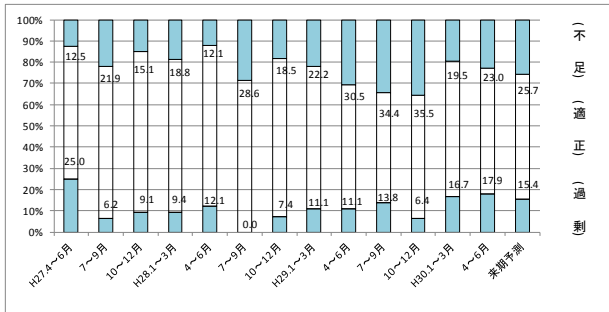
参考図 雇用の状況の推移（建設・土木業）



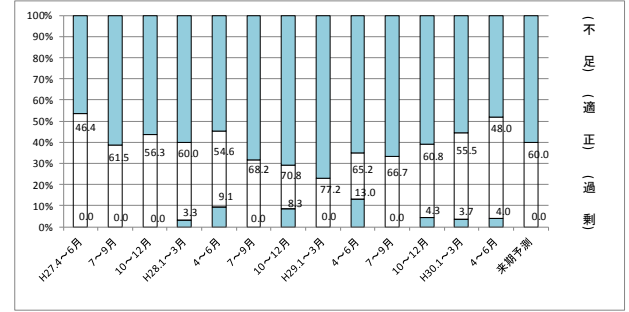
参考図 雇用の状況の推移（飲食業）



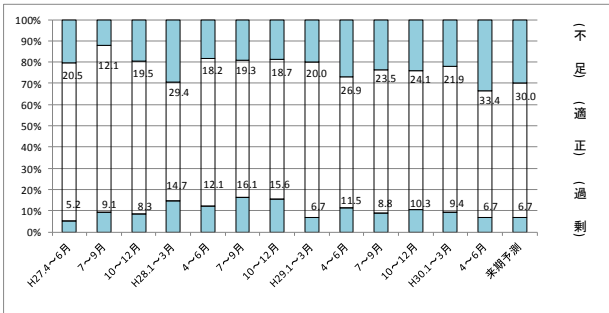
参考図 雇用の状況の推移（製造業）



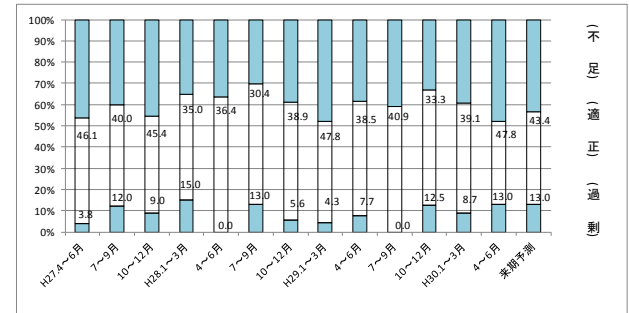
参考図 雇用の状況の推移（旅館業）



参考図 雇用の状況の推移（卸売・小売業）



参考図 雇用の状況の推移（その他）



4. 設備投資

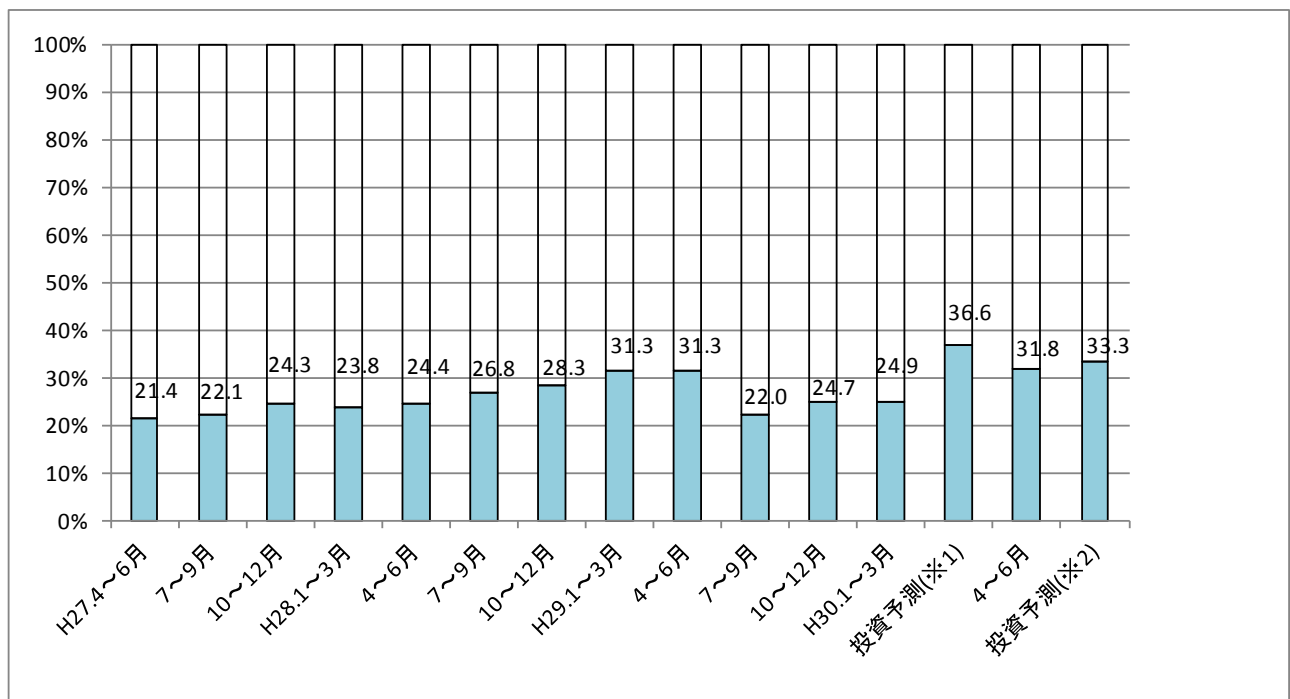
設備投資を行った事業所は増加傾向、
来期以降の設備投資計画は減少傾向

今期「設備投資をした」と回答した事業所の割合は31.8%で、前回(24.9%)より6.9ポイント増加した。(第5図 参照) また、向こう1年間の計画については、「設備投資を計画している」と回答した事業所の割合は33.3%となっており、前回調査時の予測値(36.6%)より3.3ポイント減少した。

業種別にみると、「建設・土木業」「飲食業」「旅館業」において前回調査の予測値を上回っている。また、向こう1年の投資計画は、「製造業」「飲食業」「旅館業」において前回調査の予測値を上回っている。

(参考図 設備投資の推移(各業種) 参照)

第5図 設備投資の推移(全体)



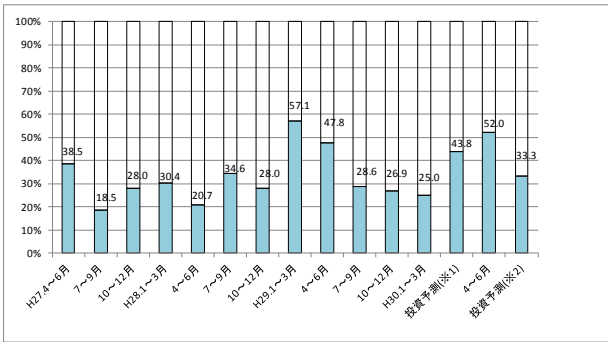
投資予測※1

前回調査(1~3月期)における向こう1年間の投資計画

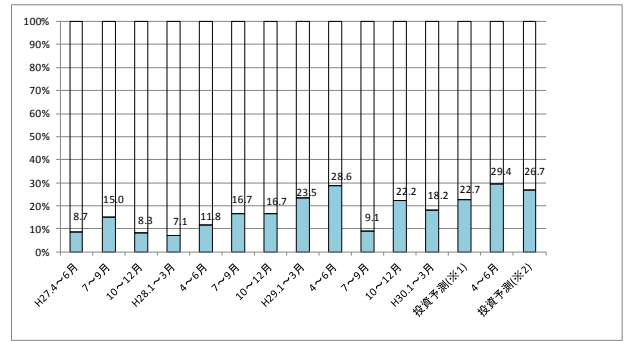
投資予測※2

今回調査(4~6月期)における向こう1年間の投資計画

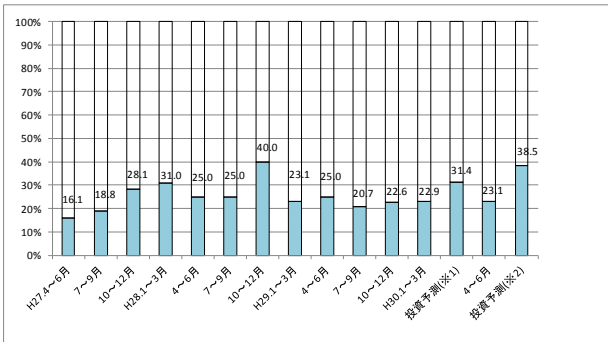
参考図 設備投資の推移(建設・土木業)



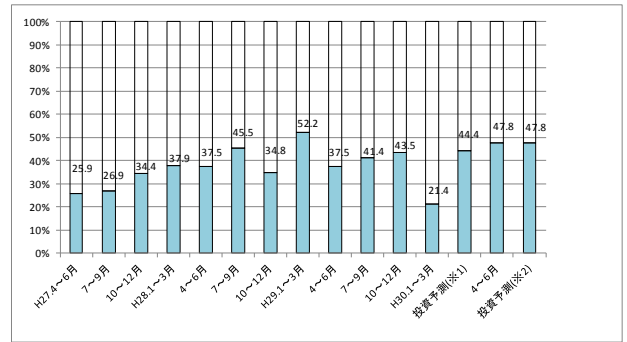
参考図 設備投資の推移(飲食業)



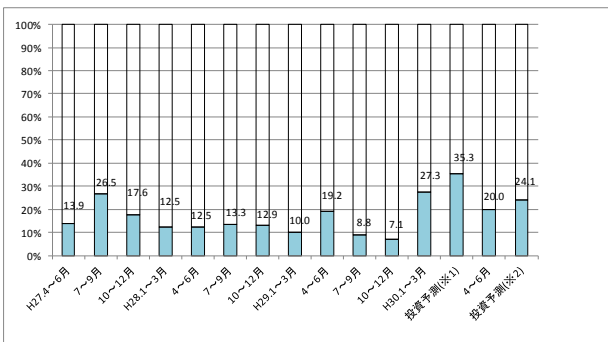
参考図 設備投資の推移(製造業)



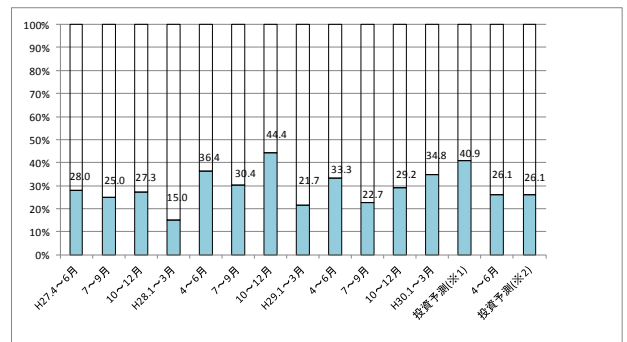
参考図 設備投資の推移(旅館業)



参考図 設備投資の推移(卸売・小売業)



参考図 設備投資の推移(その他)



景気動向調査結果業種別集計表

平成30年 4月～6月期

(単位：%)

項目	比較区分	状況	産 業 全 体	建 設 土 木	製 造	卸 ・ 小 売	飲 食	旅 館	そ の 他
販売高 出荷額 工事高	(今期) 前年同期と比べて	10%以上増加	3.7	7.7	7.7	3.1	0.0	0.0	0.0
		3%以上10%未満増加	14.8	15.4	10.3	15.6	12.5	19.2	17.4
		横ばい	37.7	46.2	25.6	46.9	43.7	27.0	43.5
	(今期) 前期と比べて	3%以上10%未満減少	29.0	19.2	38.5	21.9	25.0	34.6	30.4
		10%以上減少	14.8	11.5	17.9	12.5	18.8	19.2	8.7
		10%以上増加	9.3	7.7	10.3	3.1	6.3	11.5	17.4
景気の動向 自社の景気	(今期) 前期と比べて	3%以上10%未満増加	17.3	7.7	15.4	15.6	12.5	30.8	21.7
		横ばい	36.4	53.8	30.7	46.9	56.1	19.2	17.4
		3%以上10%未満減少	25.3	15.4	20.5	25.0	18.8	38.5	34.8
	(来期見込) 今期と比べて	10%以上減少	11.7	15.4	23.1	9.4	6.3	0.0	8.7
		上昇した	4.3	0.0	5.1	3.1	5.9	3.8	8.7
		やや上昇した	15.3	11.5	17.9	12.5	11.8	15.4	21.7
雇用人員	(今期) 今期水準	横ばい	50.3	73.1	38.5	59.4	47.0	42.4	43.6
		やや下降した	22.1	7.7	28.2	12.5	29.4	34.6	21.7
		下降した	8.0	7.7	10.3	12.5	5.9	3.8	4.3
	(来期予想) 来期水準	上昇する	1.9	0.0	5.3	0.0	5.9	0.0	0.0
		やや上昇する	11.1	7.7	13.2	12.5	5.9	15.4	8.7
		横ばい	52.4	69.2	52.5	50.0	58.8	38.5	47.8
設備投資	(今期) 今期実績	やや下降する	25.3	15.4	21.1	21.9	17.6	34.6	43.5
		下降する	9.3	7.7	7.9	15.6	11.8	11.5	0.0
		過剰である	0.6	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	(来期予想) 来期水準	やや過剰である	8.8	0.0	17.9	6.7	5.9	4.0	13.0
		適正である	56.2	53.9	59.1	59.9	82.3	48.0	39.2
		やや不足している	26.3	38.5	17.9	26.7	5.9	32.0	34.8
資金繰り	(今期) 前年同期と比べて	不足している	8.1	3.8	5.1	6.7	5.9	16.0	13.0
		過剰となる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		やや過剰となる	8.1	3.8	15.4	6.7	5.9	0.0	13.0
	(今期) 前期と比べて	適正である	56.2	53.9	58.9	63.3	82.3	40.0	43.6
		やや不足する	26.9	38.5	23.1	20.0	5.9	40.0	30.4
		不足する	8.8	3.8	2.6	10.0	5.9	20.0	13.0
原材料購入 購入価格、 仕入価格等	(今期) 前年同期と比べて	設備投資した	31.8	52.0	23.1	20.0	29.4	47.8	26.1
		設備投資していない	68.2	48.0	76.9	80.0	70.6	52.2	73.9
		〃を計画している	33.3	33.3	38.5	24.1	26.7	47.8	26.1
	(今期) 前期と比べて	〃を計画していない	66.7	66.7	61.5	75.9	73.3	52.2	73.9
		楽になった	4.4	0.0	12.8	3.1	0.0	4.3	0.0
		やや楽になった	9.5	8.0	7.7	12.5	6.3	4.3	17.4
原 材 料 購 入 購 入 価 格、 仕 入 価 格 等	(今期) 前年同期と比べて	横ばい	61.4	76.0	48.8	65.6	56.2	56.7	69.6
		やや苦しくなった	15.2	8.0	17.9	6.3	25.0	30.4	8.7
		苦しくなった	9.5	8.0	12.8	12.5	12.5	4.3	4.3
	(今期) 前期と比べて	楽になった	3.1	0.0	7.7	3.1	0.0	4.3	0.0
		やや楽になった	14.5	16.0	10.3	12.5	5.9	13.0	30.4
		横ばい	56.6	68.0	51.2	62.5	58.9	43.6	56.6
原 材 料 購 入 購 入 価 格、 仕 入 価 格 等	(今期) 前年同期と比べて	やや苦しなくなった	15.1	12.0	15.4	9.4	17.6	30.4	8.7
		苦しなくなった	10.7	4.0	15.4	12.5	17.6	8.7	4.3
		上昇した	14.1	8.0	13.2	12.9	12.5	20.8	18.2
	(今期) 前期と比べて	やや上昇した	44.9	32.0	57.9	29.0	50.0	54.2	45.5
		横ばい	37.2	60.0	26.3	51.6	31.2	16.6	36.3
		やや低下した	3.2	0.0	2.6	6.5	6.3	4.2	0.0
原 材 料 購 入 購 入 価 格、 仕 入 価 格 等	(今期) 前年同期と比べて	低下した	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0
		上昇した	14.1	8.0	15.8	16.1	12.5	12.5	18.2
		やや上昇した	41.0	32.0	42.1	25.8	43.8	66.7	40.9
	(今期) 前期と比べて	横ばい	41.1	60.0	39.5	48.4	37.4	16.6	40.9
		やや低下した	3.2	0.0	2.6	9.7	0.0	4.2	0.0
		低下した	0.6	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0

【参考資料】

工業指標

(単位:件,人,万円)

区 分	2 1 年	2 2 年	2 4 年	2 5 年	2 6 年
事業所数 (指数)	232 (100)	222 (95)	210 (90)	201 (86)	195 (84)
従業者数 (指数)	5,321 (100)	5,347 (100)	5,439 (102)	5,504 (103)	5,267 (98)
製造品出荷額等 (指数)	10,585,570 (100)	10,355,962 (97)	11,898,399 (112)	12,042,054 (113)	12,374,170 (116)

(指数:平成21年=100)

工業統計

商業指標

(単位:店,人,万円)

区 分	2 6 年
商店数	1,414
従業者数	7,820
商品販売額	20,705,901

商業統計

月別観光入込数(高山市全域)

(単位:人)

	観 光 入 込 数			
	3 0 年	2 9 年	2 8 年	2 7 年
1月	378,000	402,000	383,000	362,000
2月	296,000	285,000	288,000	267,000
3月	288,000	303,000	295,000	275,000
4月	533,000	608,000	460,000	413,000
5月	515,000	590,000	471,000	467,000
6月	227,000	229,000	227,000	217,000
7月	243,000	291,000	308,000	280,000
8月	442,000	465,000	502,000	479,000
9月		331,000	336,000	362,000
10月		501,000	572,000	571,000
11月		354,000	387,000	378,000
12月		264,000	282,000	270,000
累 計	2,922,000	4,623,000	4,511,000	4,341,000

観光課資料

有効求人倍率(飛騨管内)

	有効求人倍率	
	30年	29年
1月	1.33	1.24
2月	1.28	1.32
3月	1.39	1.39
4月	1.41	1.47
5月	1.46	1.53
6月	1.59	1.59
7月	1.67	1.69
8月		1.69
9月		1.61
10月		1.48
11月		1.36
12月		1.39

高山公共職業安定所資料

月別観光入込数(高山地域)

(単位:人)

	観光入込数	
	30年	29年
1月	204,000	205,000
2月	201,000	190,000
3月	193,000	198,000
4月	431,000	560,000
5月	468,000	503,000
6月	176,000	181,000
7月	131,000	176,000
8月	260,000	294,000
9月		218,000
10月		490,000
11月		343,000
12月		255,000
累計	2,064,000	3,613,000

観光課資料